

# 2025 年度 ご案内

## 「バトンをつなぐ ——未来につなぎたいもの」

戦後 80 年となる今年、2025 年。様々な分野で「記憶」、「記録」、「経験」、「遺物」、「遺産」などを次世代が「忘れない・つなぐ・のこす」ことが問われているように思います。

高齢者にとって、「次世代に、なにをどうつなぐのか？」は大きな課題です。

2025 年度、「高齢者生存組合」では、「バトンをつなぐ——未来につなぎたいもの」とは何かを明らかにすることをテーマにします。

「手渡すもの、手渡したいもの、手渡せないもの」を明確にしながら、さらに「社会を変える」運動について、あらためて検証したいと考えています。

ぜひご参加ください。

## 高齢者生存組合

# オープニング

と き 5月31日(土) 午後1時半

ところ サンフォルテ 306号室

スピーカー 菅孝行さん

## 戦後80年

「バトンをつなぐ

——未来につなぎたいもの」

菅孝行さん 紹介

劇作家・演出家として演劇活動を行うとともに、戦後日本社会に対する鋭い批評活動を展開。また、反天皇制運動等の社会運動にも深く関わる。最近では、「ネット社会」の中で進行する人々の相互の関係の解体・孤立化に対して、社会運動の中の「居場所」・「拠点」や「陣地」の再構築を提唱している。

菅孝行さんにテーマについて

大いに語ってまいります。

# バトンをつなぐー未来につなぎたいもの

2000年に、障害者解放を積極的に進めるために、「自立生活支援センター富山」を開設した平井誠一さん、2011年に、アイ・クリニックを開院して、ACT（包括型地域生活支援プログラム）地域精神医療を推進した吉本博昭さん、1993年に、誰もが自宅で最後まで暮らせるように、富山型サービス「このゆびとーまれ」を開設した惣万佳代子さんをお招きして、活動分野の違いを超えて、『バトンをつなぐ』ということについて語ってまいります。

## スケジュール

- |    |           |                 |       |
|----|-----------|-----------------|-------|
| 1回 | 6月15日（土）  | 吉本博昭さん          | 306号室 |
|    |           | ACT地域精神医療を推進して  |       |
| 2回 | 7月13日（日）  | 平井誠一さん Part1    | 305号室 |
|    |           | 自立生活支援センターを開設して |       |
| 3回 | 9月14日（日）  | 平井誠一さん Part2    | 305号室 |
|    |           | 若い人たちに伝えたいこと    |       |
| 4回 | 10月12日（日） | 惣万佳代子さん         | 305号室 |
|    |           | 若い人たちに伝えたいこと    |       |
| 5回 | 11月16日（日） |                 | 305号室 |

再び話し手のみなさんに集まってもらい

**「バトンをつなぐー未来につなぎたいもの」**

について語りあいます。

場所：サンフォルテ 富山市湊入船町6-7

時間：午後1時半～4時 参加費+資料代 1000円

# 「すべての生の無条件の肯定」を

2018 年開催の「米騒動 100 年プロジェクト」から産み出された「高齢者生存組合」は、高齢者が抱えている〈生きがたさ〉からの解放を求め、相互の結びあいの力で社会と向き合う生存組合です。

1970 年、アメリカでグレイパンサーを名乗る運動体がひろがりました。

全米で 6 万人、130 のネットワークにひろがったグレイパンサーは、エイジズム(年齢差別)からの解放をかけた、社会を変えようとしてきました。彼・彼女らは「老人としての誇り」を高らかに謳い、「年をとることに価値を見いだす社会」を目指しました。彼・彼女らの活動や理念は、今のこの困難な時代だからこそ、あらためて見直すべきことだと考えています。

**高齢者生存組合**      代表 埴野謙二

連絡先 〒930-0009 富山市神通町 3 - 5 - 3  
TEL 090-5174-5877 (榎谷)  
URL : <https://net-jammers.net>  
E-mail : [jammers@net-jammers.net](mailto:jammers@net-jammers.net)